

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-1-030
補助事業名 平成25年度 自転車と人にやさしい健康で安全な社会作りを推進する
活動補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①自転車月間推進事業 (<http://www.bpaj.or.jp/bikemonth/cdf2013.html>)

平成25年度自転車月間推進事業の報告と決算報告の審議及び平成26年度自転車月間事業の実施計画と予算等を審議するため、自転車月間総会を開催した。

また、「自転車月間（自転車の日／5月5日）」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ 2013』を開催した。



「サイクルドリームフェスタ 2013」入り口

「サイクルドリームフェスタ 2013」会場様子

②自転車に関する総合情報提供事業 (<http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/>)

自転車の情報発信基地である「自転車文化センター情報室(科学技術館内2階1室)」を運営した。(入場者数 24,540名)



情報室（開架図書）

情報室（タッチメディアステーション）

③自転車に関する企画催事

(<http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/event/2013event/handmade/index.html>)

下記の企画催事を開催した。

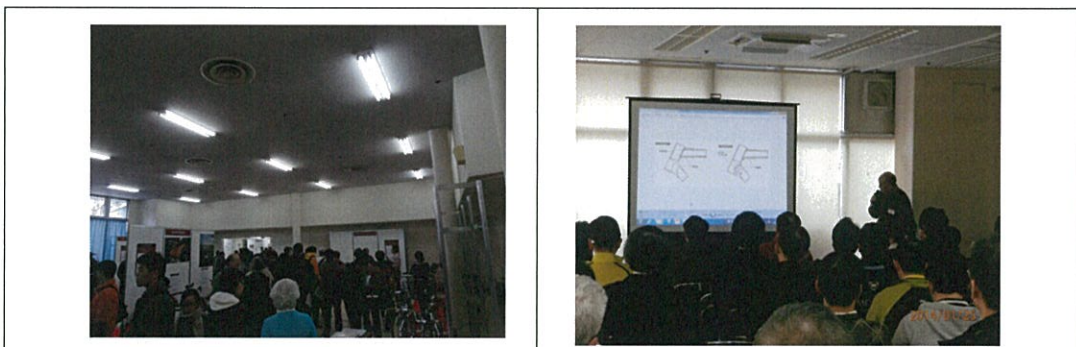
名 称：「2014 ハンドメイドバイシクル展」

期 間：平成 26 年 1 月 25 日(土)～26 日(日) (2 日間)

場 所：科学技術館 1 階 催物場

内 容：ハンドメイドによるスポーツ用自転車、街乗り用自転車、シニア・障がい者向け自転車の実車展示
独自の技術が施された自転車のパーツの展示
1964 年東京オリンピック関連資料の展示
ハンドメイドビルダーによるトークショー&座談会

来場者数：計 2,092 人 (1 日目 1,043 人/2 日目 1049 人)



会場の様子

ビルダーによるトークショー

④自転車に関する特別展示

自転車文化センター情報室において、当センターの資料を活用して来館者に自転車の奥深い魅力や多様な活用法を紹介するため、以下 3 テーマの特別展示を行った。

(1)「日本のスポーツ・レジャー用自転車の歴史展」

期間：平成 25 年 5 月 11 日～7 月 15 日

入場者数：4,434 名

(2)「安心安全な自転車利用展」

期間:平成25年7月20日～9月29日

入場者数:3,975名

(3)「自転車の景品展」

期間:平成25年10月5日～平成26年1月31日

入場者数:12,037名



日本のスポーツ・レジャー自転車の歴史



安心安全な自転車利用展



自転車の景品展



自転車の景品展

⑤自転車安全利用教室

下記の通り、自転車の安全利用教室・講習会を開催した。

(1)「自転車安全運転講習会」

日時 平成25年6月17日(月) 13:15～13:55

場所 北区立赤羽会館

講師 谷田貝、村山

内容 (公社)北区シルバー人材センター会員を対象とした講習会において、講演を行った。

参加者数 250名

(2) 「親子自転車交通安全教室」

日 時 平成 25 年 7 月 13 日 (金) 11:35~12:15

場 所 川崎市立日吉小学校

講 師 村山

内 容 川崎市幸区 PTA 協議会主催の「親子自転車交通安全教室」において、日吉小学校の生徒・保護者を対象とした「自転車のルールとマナーについて」をテーマに講話を行った。

参加者数 180 名

(3) 「高等部 1 年セーフティ教室」

日 時 平成 25 年 7 月 16 日 (火) 10:15~12:00

場 所 東京都立練馬特別支援学校

講 師 谷田貝、村山、赤澤、岸本

内 容 東京都立練馬特別支援学校高等部 1 年生の生徒を対象に「自転車乗用時と歩行者のマナーやルールをテーマに注意点の指導、実演練習を行った。

参加者数 56 名 (歩行者グループ 39 名・自転車グループ 17 名)

(4) 「自転車サマースクール」

日 時 平成 25 年 8 月 14 日 (水)、15 日 (木)

各日 2 回 (10:30~、14:00~) 全 4 回

場 所 北ノ丸サイクル、自転車広場

講 師 谷田貝、村山、赤澤、松島、岸本

内 容 夏休み期間に「自転車乗り方教室」「親子で学ぼう自転車のルール」「自転車を分解してみよう」をテーマに親子参加型の安全教室講習会を実施した。また、「戦前の日本の自転車事故防止対策から学べること」をテーマに講演を行った。

参加者数 37 名 (全 4 回計)

(5) 「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」

日 時 平成 25 年 9 月 19 日 (木) 13:30~16:00

平成 25 年 9 月 20 日 (金) 9:30~12:00

場 所 東京しごとセンター

講 師 谷田貝、村山、赤澤、松島、岸本

内 容 公益財団法人東京しごと財団主催によるシルバー人材センター安全管理委員会委員を対象とした 安全な自転車の乗り方についての講義および自転車シミュレーターを使用した体験学習を行った。

参加者数 41 名 (9 月 19 日 : 22 名 / 9 月 20 日 : 19 名)

(6) 「平成 25 年度清掃業務従業員安全大会」

日 時 平成 25 年 9 月 24 日 (火) 14:10~15:00
場 所 ヴァルシオーネ若潮
講 師 谷田貝
内 容 日本総合住生活(株)主催による従業員を対象とした講義を行った。
参加者数 180 名

(7)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」

日 時 平成 25 年 10 月 22 日 (火) 13:30~16:00
平成 25 年 10 月 23 日 (水) 13:30~16:00
場 所 東京しごとセンター
講 師 谷田貝、村山、赤澤、松島、岸本
内 容 公益財団法人東京しごと財団主催によるシルバー人材センター安全管理委員会委員を対象とした安全な自転車の乗り方についての講義および自転車シミュレーターを使用した体験学習を行った。
参加者数 42 名 (10 月 22 日:20 名 / 10 月 23 日:22 名)

(8)「第 17 回交通大学」自転車の安全運転教育について

日 時 平成 25 年 10 月 30 日 (水) 9:30~17:00
場 所 アークホテル岡山
講 師 谷田貝
内 容 自動車学校、教習所指導員、警察職員、安全協会職員を対象に「交通大学」にて、講演を行った。
参加者数 約 100 名

(9)「高齢者障がい者向け自転車展示試乗会」

日 時 平成 25 年 11 月 23 日 (土祝)~24 日 (日) 10:00~17:00
場 所 けやきホール(前橋市)
内 容 高齢者障がい者向け自転車展示試乗会、アンケート調査
出展台数 14 台(12 種)
出展社数 6 社
来場者数 335 名
アンケート回答数 73 件

(10)「自転車の安全利用」

日 時 平成 25 年 12 月 2 日 (月) 13:30~15:30
場 所 鷺宮区民活動センター
講 師 谷田貝
内 容 地域の方を対象とした「自転車の安全利用について」の講義を行った。
参加者数 約 60 名

- (11)「エコプロダクツ2013 環境コミュニケーションスクール」
日 時 平成25年12月12日(木) 14:30~15:10
場 所 東京ビックサイト
講 師 谷田貝
内 容 「エコプロダクツ2013 環境コミュニケーションスクール」において『自転車はなぜ人に地球に優しい乗り物なのだろうか?』の講義を行った。
参加者数 約20名
- (12)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」
日 時 平成26年2月13日(木) 9:30~12:00 13:30~16:00
場 所 東京しごとセンター
講 師 谷田貝、村山、赤澤、松島、岸本
内 容 公益財団法人東京しごと財団主催によるシルバー人材センター安全管理委員会委員を対象とした安全な自転車の乗り方についての講義および自転車シミュレーターを使用した体験学習を行った。
参加者数 28名 (午前の部:16名 /午後の部:12名)
- (13)「自転車の安全利用」
日 時 平成26年2月21日(金) 10:00~12:00
場 所 中野区立第八中学校
講 師 谷田貝
内 容 中野区第八中学校地区の懇談会メンバーを対象に自転車の安全利用についての講義ならびにグループワーキングを行った。
参加者数 50名
- (14)「自転車安全講習会」
日 時 平成26年2月26日(水) 9:30~12:00・13:30~15:30
場 所 公益財団法人葛飾区シルバー人材センター会議室
講 師 谷田貝、村山、岸本
内 容 公益財団法人葛飾区シルバー人材センター会員を対象とした安全な自転車の乗り方についての講義および自転車シミュレーターを使用した体験学習を行った。
参加者数 34名 (午前の部16名/午後の部18名)
- (15)「いなぎ IC カレッジ 10周年企画講座」
日 時 平成26年3月16日(日) 15:00~16:45
場 所 稲城市城山体験学習館
講 師 村山
内 容 自転車セミナー 安全な自転車の乗り方についての講義を行った。

参加者数 15名



セーフティ教室（特別支援学校）



親子で学ぶ自転車のルール（サマースクール）



シミュレーターを使った自転車安全講習会
（しごと財団）

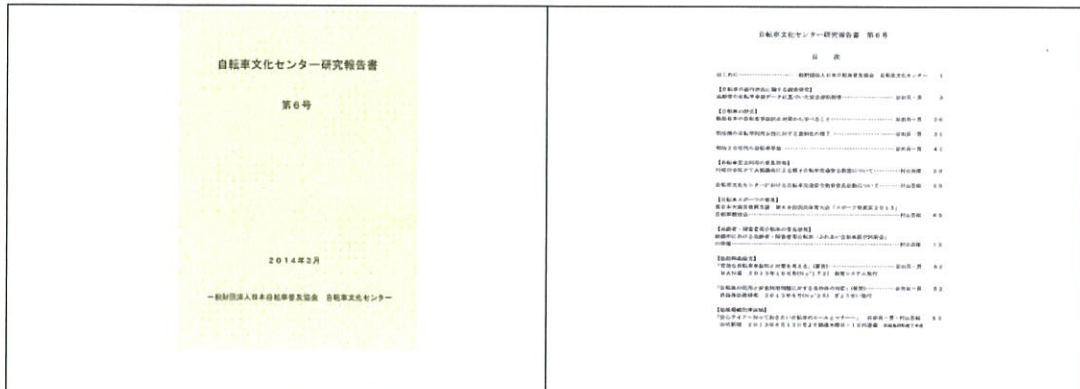


高齢者・障害者向け自転車展示試乗会
（前橋市）

⑥自転車利用環境研究レポート

<http://cycle-info.bpaj.or.jp/kenkyureport/kenkyouhoukokusho.html>

自転車文化の継承と普及、人と自転車・社会と自転車との関わりを考える提案のための調査研究として、8テーマのレポートを作成し、調査研究報告書を全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等に配布した。



研究報告書(第6号)

目次

⑦ バイコロジー地方組織開催 (<http://bikecology.bpaj.or.jp/>)

「自転車市民権」や「バイコロジー運動」の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。

また、キャンペーンにおいて配布する啓発チラシ（反射シール付）、自転車市民権宣言署名用紙を作成し、バイコロジー地方組織に配布した。



交通安全パレード（葛飾バイコロジー） 統一キャンペーン（防府バイコロジー）

⑧ シンポジウム開催

(<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/html/information/2013/sympo2013okayama.html>)

バイコロジー地方組織の活性化や地方から全国への発出を図るため、岡山県岡山市において「バイコロジーシンポジウム」を開催した。会場内において、自転車市民権宣言署名活動及び自転車環境パネルの展示出展など実施した。



「バイコロジーシンポジウム2013in 自転車先進都市「おかやま」入り口 「バイコロジーシンポジウム2013in 自転車先進都市「おかやま」パネルディスカッション

⑨ バイコロジー指導者養成セミナー

(<http://bikeecology.bpaj.or.jp/html/report/2013/pdf/25youseiseminar.pdf>)

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活発化を図るため、バイコロジー地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイコロジー運動のリーダー育成を目的としたセミナーを3地区において、計3回開催した。



東京会場



京都会場

2 予想される事業実施効果

① 自転車月間推進事業

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想され、「自転車の日」記念事業を通じて、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

② 自転車に関する総合情報提供事業

自転車に関するあらゆる情報を提供することにより、自転車文化の形成を促し、交通ルールやマナーなど正しい自転車に関連する知識を身につけ、昨今の自転車ブームを下支えする役割の一翼を担い、自転車産業の振興や人々の暮らしへの貢献に資することが期待できる。

③ 自転車に関する企画催事

自転車に対する人気と関心の高まりから、人々の余暇や暮らしの質を高める重要なツールとしても、また高齢化社会に向けて、乗り手の体格や用途・年齢や体力に応じた自転車の需要は今後も高まると思われる。

④ 自転車に関する特別展示

自転車に関する社会的な関心を高めて頂くことにより、自転車の文化的側面に関する関心が高まることが予想される。

⑤ 自転車の安全利用教室

自転車利用者の交通ルール遵守・マナーの向上、自転車事故の減少につながる安全利用の普及啓発効果が期待できる。

⑥ 自転車利用環境研究レポート

社会的な課題など関心の高いテーマなどを取り上げることで、マスコミや地方自治

(別紙5)

体、一般の方からの問い合わせが増え、自転車文化センターの果たすべき役割である自転車文化の継承と普及が期待できる。

⑦ バイコロジー地方組織開催

現在の社会状況に合致したバイコロジー運動のあり方、基本的な位置づけ、推進体制等を確認しつつ、中央団体・各地方組織ともその基本に添った具体的実践活動を展開してきたことから、バイコロジー運動のより深い浸透が図られるとともに、今後は国及び地方自治体における自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及が進むものと予想される。

⑧ シンポジウム開催

「バイコロジーシンポジウム」を開催したことにより、各地域におけるバイコロジー運動の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

⑨ バイコロジー指導者養成セミナー

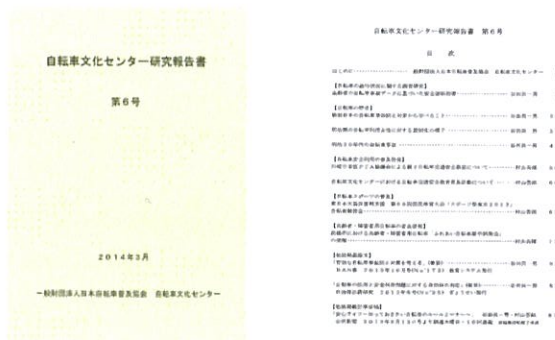
各地域におけるリーダーの育成により、「自転車市民権」や「バイコロジー運動」の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

自転車文化センター研究報告書(第6号)

<http://cycle-info.bpaj.or.jp/kenkyureport/kenkyouhoukokusho.html>



・平成25年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書

<http://www.bpaj.or.jp/bikemonth/pdf/cdf2013r.pdf>



(別紙5)

・平成25年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2013』
来場者案内用チラシ

・平成25年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2013』
ポスター

(<http://www.bpaj.or.jp/bikemonth/pdf/cdf2013.pdf>)

「サイクルドリームフェスタ2013」チラシ(A4) ポスター(B2)



チラシ(表)、ポスター



チラシ(裏)

・自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット



パンフレット(表)



パンフレット(裏)

・自転車市民権宣言キャンペーンリーフレット(チラシ及び署名用紙)



- ・自転車と健康ブック
- ・自転車と健康パンフレット



ブック (表紙)



パンフレット (表紙)

- ・バイコロジーシンポジウム2013 in 自転車先進都市おかやまチラシ



チラシ (表)



チラシ (裏)

- ・バイコロジーシンポジウム2013 in 自転車先進都市おかやまパンフレット



(別紙5)

・バイコロジーシンポジウム2013 in 自転車先進都市おかやま実施報告書

(<http://bikecology.bpaj.or.jp/html/report/2013/pdf/25okayamasymposium.pdf>)



報告書 (表紙)

The image shows a page from the report, likely the table of contents. It contains a list of chapters and their corresponding page numbers. The text is small and difficult to read, but it appears to be a standard table of contents layout.

報告書 (目次)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会 (ニホンジテンシャフキョウカク)

住所： 〒141-0021

東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代表者： 代表理事 渋谷良二 (シブヤ リョウジ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 事務局長 田中 栄作 (タナカ エイサク)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail： jifukyo@jifu.jp

U R L： <http://www.bpaj.or.jp>